

2022プログラミング体験

諸注意：

説明した箇所以外のプログラムは変更しないでください。

正しく動作しなくなることがあります。

体験中にわからない箇所がありましたら、遠慮なく近くの学生にお声がけください。

目的：

ストップウォッチが正しく動作するようにプログラムを改良する

今回は10分という短い時間での体験となりますので、内容が非常に簡単なものになっております。プログラムの具体的な内容につきましては説明を省略させていただきますので、詳しく知りたい方は、<https://github.com/fkun314/2022HTML> をご覧ください。このリンクよりご家庭でプログラムをダウンロードすることもできます。

本編の内容（ネタバレ）：

1. スタートボタンを押すとストップウォッチが始まるようにしよう

スタートボタンに"start"という名前をつけてあげる必要があります。

具体的には下記のように変更する必要があります。

```
<button type="button" class="btn btn-primary w-100 btn-lg" id="start">Start</button>
```

2. ストップボタンを押すとストップウォッチが止まるようにしよう

ストップボタンに"stop"という名前をつけてあげる必要があります。

具体的には下記のように変更する必要があります。

```
<button type="button" class="btn btn-primary w-100 btn-lg" id="stop">Stop</button>
```

3. 5秒を超えてストップしたら背景の色が紫色になるようにセットしよう

今回のプログラムでは5秒以上でストップした場合、colorという変数に入っているRGB値が背景にセットされるようになっています。

RGB値とは、色の3原色を数値化したものでRed、Green、Blueがどのくらい入っているかを示す値です。また、今回は $0 < 1 < \dots < 9 < A < B < \dots < E < F$ の16つの数を使用して表します。0に近いと色は薄く、Fに近いと色は濃く出力されます。例えば赤色の場合は、RGBのうちRedが濃く出力され、Green、Blueは出力される必要がないのでRGB値はF00となります。なお、プログラムにRGB値を記述する際は「#」を先頭につけてください。今回の体験では紫色になる必要がありますので、赤色と青色が濃く出力され、緑色は出力される必要がないので変数colorの値は#F0Fとなります。

隠し要素として「gaiming」も用意しています。変数colorの値を変更して確認してみましょう。